

笑顔輝く せたっこ通信

令和8年9月
大津市立瀬田幼稚園



「運動会をしよう！！」

2学期が始まり、元気な子どもたちの声が響くようになりました。

例年にない長雨で園庭で思い切り体を動かして遊ぶ日が少ないのですが、保育室はもちろん遊戯室や廊下、玄関ロビーと場所を考えながら体を動かす遊びができるよう工夫しています。

そんなある日、5歳児は「運動会」という言葉を口にするようになり、少しずつ昨年度の5歳児の取組を思い出し、「バルーンやってみたいな」「リレーは絶対したい！」と思いを出し合うようになりました。

「運動会って誰がするの？」「あお組だけです？」「き組とあか組も一緒に運動会したい。」「き組やあか組はいつが運動会か知ってるのかな？」と教師の投げかけに、「運動会」への思いと5歳児としてリーダーシップを取って欲しいという思いをひとつひとつ整理していき、あお組がポスターを作ってお知らせすることになりました。



そして、ポスターをどこに貼ればいいのか自分たちで場所を考え、掲示してくれました。き組やあか組が分かる場所、保護者の方が通る場所、よく目立つ場所、先生たちにも知らせたい… 「誰か！！先生たちも知らはらへんからここに貼ってくれへん？」と自分のポスターは貼ってしまったので友達に声を掛けて、一人一人がよく考えていました。ここに私たちの「ねらい」があります。教師から伝えるのではなく、あお組が考えた場所にポスターを貼ることで子ども同士が関わる機会になると考えました。「これ何？」

「運動会をするよっていうお知らせ！」5歳児は得意気に自信をもって伝えていました。これをきっかけに、き組やあか組の子ども達は、あお組が園庭で踊ったり走ったりする姿を見るようになり、「自分たちもやってみたい」という気持ちを膨らませていっています。



地域に育つ子ども達と幼稚園

夏休み最後の日曜日の早朝より、瀬田学区社会福祉協議会、自治連合会主催で幼稚園の園庭整備をしていただきました。保護者の方もたくさん参加していただき、暑い中、総勢80名ほどの方が除草作業や木の選定をし、見違えるほどきれいにしてくださいました。瀬田幼稚園の魅力のひとつに「広い園庭がある」と言ってくださることを地域の方も知ってくださっており、子ども達がのびのびと遊べるようにと20年以上前からお力を貸してくださっています。

また、9月になってからは、5歳児が大根を育てると話をしたら、自治連合会 岸場 馨 会長と高野さんが耕運機を使って畑の整備をしてくださり、あっという間に畑がきれいになりました。5歳児が大根の種蒔きをする日も来てくださり、子ども達に種の蒔き方や土のかけ方を教えてくださいました。

幼稚園の畑と花壇の間に新しく畝を作ってくださり、小学校の児童がネギを育てています。幼稚園が地域のコミュニティーの場になっていくことを願い、場所の提供をさせていただきました。幼稚園に地域の方やお家の方、小学校の先生や児童が集い、瀬田学区で育つ子ども達を応援していきたいと思っています。



土粘土で遊んでいます

土粘土は泥や砂とはまた異なる素材で、冷んやりとした感触と粘土の重さを感じながら塊をつくったり足で踏んだりして全身で遊んだり、塊から取り出したり伸ばしたり丸めたりと手指を使って遊んだりしながら可塑性を楽しむ素材です。

どの学年も粘土に触れることがおもしろく、友達のしていることを真似たり、何かに見立てたりしながら遊んでいます。この時期に感覚を使った遊びを十分に体験していきたいと考えています。



この通信は大津市のホームページからも見て頂くことができます。

